

2004年(平成16年)6月11日(金曜日)

地域ニュース

里地里山保全活動コンテスト

「どんごろす」(宮)を表彰

里地と里山の保全維持に  
取り組む団体を表彰する  
「日本の里地里山30」保全活  
動コンテスト(読売新聞社  
主催、環境省共催)に、宮原  
町立神の「里山クラブどん  
ごろす」(上原健一会長、百  
三十八人)が選ばれた。活動  
を地道に続けてきた会員た  
ちは「認められてよかった。  
励みになります」と受賞の  
喜びをかみしめた。

五木・五家荘県立自然公  
園内の宮原町・立神峡は人  
の手が入らず、荒れた山に  
なりつつあったといつ。近  
くで育った上原会長(41)ら  
が一九九九年十月、「里山  
を守り、暮らしの知恵や伝  
統を伝えよう」を結成。

「どんごろす」は収穫物を  
入れる麻袋のことで、里山  
の恵みと自然を持ち帰って  
ほしいという思いを込め  
た。会員の半数は子どもで、  
町外者がやはり半数を占め  
るという。



表彰を喜ぶ上原会長(左)と幸山館長

立神峡は一九九七年、環  
境庁(当時)から「里地等  
環境基本計画総合推進モデ  
ル事業」の対象に指定され  
たのを機に、町が一带の照  
葉樹林の森を取得。昭和三  
十年代の農家をイメージし  
た研修宿泊施設や遊歩道  
を作った。

会は、立神峡「里地公園」  
と共催で、棚田での米作り  
を中心とした「里山暮らし  
の学校」や環境学習会を開  
いているほか、下草刈りな  
ど公園の森の世話をする。  
活動は休日中心で毎回約三  
十人が集まるという。

上原会長は「光栄です。  
もっと多くの人に関心を持  
ってもらえるようこれから  
も頑張りたい」と感謝。里  
地公園館長の幸山昌生さん  
(43)は「会の人たちは、里  
山の保全を真剣に考え、文  
化を伝えようと懸命だ。本  
当によかった」と喜んだ。